

【水の里の旅コンテスト2018 応募企画】

【一般部門】

男鹿半島・大潟ジオパークガイドの会

『火山と水が作り出した絶景を堪能！！ 火山と水が作り出した様々な自然環境と人々の暮らしとの関りを知る。』

(観光地域：秋田県 男鹿市、男鹿半島・大潟ジオパーク)

【日程】	日帰り		
【実施時期】	夏・秋 (実施時期：7月下旬～11月下旬)		
【催行人員】	1名以上(最少催行人員：1名)	【お勧めする旅行者層】	ゆっくり旅をしたい熟年層
【旅行代金】	ガイド料 1日 8,000円 昼食別 (大人・子供も共通)	【内 訳】	
		ガイドの乗用車で先導しジオサイトを巡ります。また、旅行者の自家用車又はレンタカーにガイドが乗り込む場合もあります。ガイド料は時間制のため、1人でもグループでも同額です。	
【企画趣旨(伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
<p>火山と水が作り出した様々な自然景観を巡りながら、それらの成り立ちや特徴について理解を深めるとともに、水源となる大きな河川を持たない男鹿半島において、これらの自然景観が地域の人々の暮らしを支え、また人々が自然の保全に努めてきたことを知ることにより、水の里としての男鹿半島を多角的に楽しむことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 寒風山の火山の恵み、霊水・名水と言われる「滝の頭湧水」と、これを水源とする男鹿市の浄水施設を見学します。 2 日本海と男鹿半島・大潟ジオパークの大地の成り立ちを、寒風山山頂で360°大パノラマを堪能しながら知ることができます。 3 寒風山・第一噴火口にある人気のパワースポット「鬼の隠れ里」及び寒風山・板場の台で溶岩の流れた跡の火山地形を見学します。 4 八望台展望台において男鹿半島観光の3本指に入る絶景を堪能します。日本でも珍しいマール(爆裂火口湖)である一ノ目潟(国指定天然記念物)、二ノ目潟や、タフリングである戸賀湾(戸賀火山)に加えて、寒風山や白神山地を見渡せる景勝地です。 5 火山の湖「一ノ目潟」の静寂な湖畔をじっくり散策します。また、一ノ目潟湖水が地域の上水道や農業用水等の大切な水資源でもあり、地域住民の暮らしと深く関わっていることについて知ることができます。 6 道の駅「オガーレ」駐車場で解散となります。「お土産」を購入できます。 			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
・男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会やガイドの会では、リスクマネジメントやガイドのスキルアップを目指して研修会を実施しており、緊急時の連絡体制も整備済みです。また、行政による救急救命講習も実施しています。		・八望台で絶景を堪能しながら、滝の頭水源地で汲んだ湧水を沸かし、コーヒーを楽しみます。 ・訪問する各ジオサイトの缶バッジを記念にプレゼントします。	
【企画協力(後援)機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力(後援)機関・団体名等】	【主な役割】
①男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会	関係団体の取りまとめ	⑤	
②男鹿市・文化スポーツ課(文化ジオパーク推進班)	ガイド依頼の窓口・広報	⑥	
③男鹿半島・大潟ジオパークガイドの会	ガイド依頼の周知と実施	⑦	
④		⑧	
【特記事項】	水資源(地域資源)について、自然や歴史の見どころを保全しながら、観光振興や子ども達の水環境の学習の場として、地域活性化に貢献できると考えています。		
【催行実績】	無		

【 行 程 表 】

1 日目	道の駅「オガーレ」ガイドと待ち合わせ (9:00) --- 滝の頭湧水源を見学 (9:30-10:20) --- 寒風山山頂回転展望台 (10:30-11:00) --- 寒風山・鬼の隠れ里 (11:05-11:40) --- 寒風山・板場の台 (11:45-12:00) --- ブルーベリーガーデン (昼食) (12:20-13:10) --- 一ノ目潟湖畔散策 (13:25-14:10) ---- 八望台展望台 (14:15-14:50) --- 男鹿半島西海岸経由・道の駅「オガーレ」解散 (15:30)
------	---

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】

【 ポイント 1 】	【 ポイント 2 】	【 ポイント 3 】
		
<p>【コメント】</p> <p>「滝の頭」湧水は、寒風山の北東麓に位置し、干ばつでも枯れずに古来より地域を潤してきたことから霊水・名水と称され、水源には社が建てられている。日量に2.5万トンの湧水量を誇り、水温は年間を通じて12°～13°Cで一定である。この湧水は、地域の上水道や農業用水の水源となっている。火山と湧水の仕組みや、地域の水資源の歴史と文化について知ることができる。</p>	<p>【コメント】</p> <p>円形分水工は、水争いの解決のアイデアの結晶の一つである。この円形分水工は1962年に設置され、滝の頭湧水からの湧出水を男鹿市の上水道、若美地区一部上水道と農業用水、五里合地区の農業用水の3つに振り分けている。各地区への分水は分水工に設けられた38個の穴によって行われている。</p>	<p>【コメント】</p> <p>寒風山は約3万年前に噴火した複成火山であり、標高は355mである。地理的に男鹿半島観光の玄関口に位置し、山頂から360度の大大パノラマを堪能できることから人気スポットの一つとなっている。また、全国で二箇所しか残っていない、珍しい明治新政府の誓いの御柱「五ヶ条の御誓文」も見学できる。</p>
【 ポイント 4 】	【 ポイント 5 】	【 ポイント 6 】
		
<p>【コメント】</p> <p>男鹿目潟火山群最大の湖である一ノ目潟（直径600m、水深45m）は、火山活動（マグマ水蒸気爆発）によって形成されたマール（爆裂火口湖）であり、東北地方では男鹿半島だけに見られる。学術的な見地から世界的に貴重とされ、国の天然記念物に指定されている。一方、北浦地区の水道水や農業用水として利用されており、貴重な水源でもある。</p>	<p>【コメント】</p> <p>男鹿半島でも屈指のビューポイントである八望台は、眺望の良さから高松宮殿下によって命名され、眼下に一ノ目潟や二ノ目潟、戸賀湾や日本海を眺め、寒風山や白神山地を遠望できる。日本海に沈む夕陽もロマンチックで美しく、人気が高い。ここで「滝の頭湧水」を沸かしコーヒーを入れ、絶景を見ながら至福の一時を楽しむ。</p>	<p>【コメント】</p> <p>道の駅「オガーレ」は、2018年7月1日に開業したばかりの施設であり、男鹿の漁師さんが獲った選りすぐりの海の幸や、農家さんが丹精込めて育てた大地の恵みを販売している。観光客向けのお土産も豊富に取り揃え、レストランも併設されている。また、滝の頭湧水を使った「ババヘアアイス」も販売されている。立地はJR男鹿駅に近く、車の無い方の利便性も図られている。</p>